

【決算ハイライト】

- ① 2021 年度上期決算 (カッコ内は 2020 年度上期比)
 - ・売上高=24,198 百万円(+6.4%)、経常利益=2,479 百万円(+26.0%)
→昨期のコロナ禍影響から大幅に回復し、売上・利益ともに上期の過去最高を更新。
- ② 2021 年度見通し (カッコ内は 2020 年度比)
 - ・売上高=51,000 百万円(+9.8%)、経常利益=5,300 百万円(+12.8%)
→上期の好業績を受け、年度見通しも上方修正。売上・利益ともに過去最高を更新する見通し。
- ③ 配当 (2021 年度予想)
 - ・業績予想の上方修正に沿って、60→75 円/株に上方修正 (=過去最高額)。
- ④ 主なトピックス
 - ・ローコード開発ビジネスへの本格参入
→お客様の DX ニーズを素早く高品質に実現することを目的に、強力なローコード開発プラットフォームである OutSystems ジャパン社とデリバリーパートナー契約を締結。
 - ・食品業界向け自社開発商品“メルクリウス”の拡販に向けた取組み
→例年開催のメルクリウスカンファレンスを本年は 10/8 に開催。食品メーカー関係者 1,200 名の方々がオンライン参加。また、従来 of 大手企業向けのオンプレミス版に加え、中小顧客向けのクラウド版をリリース。
 - ・電子帳簿保存法改正への取組み
→2022 年 1 月 1 日施行の電子帳簿保存法改正に向けて、自社開発商品の電子帳簿保存パッケージである“データデリバリー”の機能・導入実績等がお客様から評価され、問い合わせが急増中。

【質疑応答内容】

- Q1：今回の業績予想の上方修正は、上限に近い水準なのか、それとも、更なる上方修正の余地があるのか？
- A1：現時点で想定しうる最も確実性の高い予想値だが、足元の事業環境は良いので、好況が続けば、更なる収益の改善は有り得る。

Q2：メルクリウスクラウドの販売目標値などはあるのか。

A2：具体的な数値は設定していない。お客様の動向を見て、拡販に取り組んでいきたい。

Q3：鉄鋼向けの売上増はJFE スチール向け、特に製鉄所システムリフレッシュ案件と思うが、今後の見通しを教えて欲しい。

A3：製鉄所システムリフレッシュについては、当面の間、今期と同等もしくはそれを上回る規模でシステム開発が推進される見通しと考えている。

以上